

ふくぎんのABC

第94期 **営業のご報告**

平成16年4月1日～平成17年3月31日

# ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども福岡銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

この4月、頭取に就任いたしました谷正明でございます。福岡銀行は、地元の皆さまとともに歩み、地域の繁栄とともに発展してまいりました。これからも、皆さまの「期待を超える銀行」を目指して経営にあたってまいりますので、なにとぞよろしくご高配を賜りますようお願いいたします。



頭取 谷正明

さて、平成16年度の営業の概況をまとめた『ふくぎんのABC』をお届けいたします。当行をより深くご理解いただくためのご参考になれば幸いです。

平成16年度における当行の業績は、コア業務純益578億円と4年連続で過去最高を更新し、当期純利益も271億円と2年連続過去最高を更新いたしました。

今後とも、役職員一同総力を結集し努力してまいりますので、一層のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月

## ふくぎんの経営理念

福岡銀行は、5つの基本理念により、質の高い金融サービスの提供を通して、企業価値の持続的成長を実現します。

### 福岡銀行の基本理念 —“5C Values” —

顧客	Customers	…顧客を最優先する組織・人材
信頼	Credibility	…顧客・社会から長期にわたる信頼を築きあげる組織・人材
貢献	Contribution	…顧客や地域に貢献する組織・人材
挑戦	Challenge	…前向きなチャレンジ意欲あふれる組織・人材
変革	Change	…たゆまず進化する組織・人材

## 「新世紀プランⅡ」(平成15年4月～平成18年3月)

中期経営計画『新世紀プラン』では、目指す銀行像を「ゆるぎなく発展する先進銀行」とし、「収益(インカム)」「リスク」「コスト・リソース」をバランスよく均衡させながら成長を継続させることを主眼に「拡大均衡の持続」を基本方針として定め、各種戦略・施策を展開してまいります。

また、地域のリーディングバンクとしての顧客指向、地域への貢献はもとより、地方銀行の枠組みにとらわれない優良行を目指して成長の方向性やそのスピードといった質・量の両面にわたる発展を実現し、企業としての魅力をさらに高めてまいります。

### 目指す銀行像

ゆるぎなく発展する先進銀行

高い収益力の達成 資産内容の健全性確保 高い企業価値の実現  
営業・経営管理における先進手法の追求

### 目標とする経営指標 ー平成17年度(最終年度)目標ー

コア業務純益	600億円
当期純利益	300億円
ROE(株主資本利益率)	8%
不良債権比率	3%

貸出環境の競争激化による金利運営が想定以上に厳しいものとなり、加えて米国金利上昇による国際部門の資金利益が減少したこと等を主因に「コア業務純益」の水準を当初の700億円から600億円に変更いたしました。一方、不良債権を前倒して処理してきたことによる貸出ポートフォリオの改善や格付下方遷移の減少により、信用コストが想定以上に縮小する見込みであることから、当期純利益等その他の経営目標に変更はありません。

### コンプライアンス(法令等遵守)経営の実践

当行は、コンプライアンスを経営の最重要課題と位置付けております。お客さまからより多くの信頼・支持を得るため、今後ともコンプライアンスの充実に努めてまいります。

# 16年度業績ハイライト

## ■ 損益の状況

平成16年度決算におきまして、『コア業務純益578億円』『当期純利益271億円』といずれも過去最高を計上しました。

損益状況(単体ベース)

(単位:億円)

	平成16年度	平成15年度	前年比
業 務 粗 利 益	1,267	1,246	22
資 金 利 益	1,047	1,043	4
国 内 部 門	956	947	9
国 際 部 門	91	96	5
役 務 取 引 等 利 益	192	183	9
特 定 取 引 利 益	14	5	8
そ の 他 業 務 利 益	14	14	0
経 費	687	698	11
う ち 人 件 費	321	343	22
コ ア 業 務 純 益	578	549	29
業 務 純 益	591	635	43
経 常 利 益	517	412	105
信 用 コ ス ト	63	114	51
当 期 純 利 益	271	197	74

「コア業務純益」は、国内の資金利益・役務利益・特定取引利益の増加と経費の節減等により、前年比29億円増加し**578億円**となり4年連続過去最高を更新しました。

「経常利益」は、コア業務純益の増加に加え、信用コストの減少、その他臨時損益の好転等により前年比105億円増加し**517億円**となり2年連続過去最高を更新しました。

「信用コスト」は、企業業績の向上や取引先企業への再生支援等により貸出資産の健全化が進んだことから、前年の114億円から51億円減少し**63億円**となりました。

「当期純利益」は、固定資産減損会計の早期適用により33億円の特別損失を計上いたしましたが、経常利益が高水準であったことから前年比74億円増加し**271億円**となり2年連続過去最高を更新しました。

## ■ 業務粗利益・コア業務純益

■ 業務粗利益 ■ コア業務純益 (単位:億円)



## ■ 経常利益・当期純利益

■ 経常利益 ■ 当期純利益 (単位:億円)



## 参考 銀行の決算について

**業務粗利益**とは 銀行本来の業務での「収益」と「費用」の差額で、経費控除前の粗利益のことです。

**資金利益**とは 貸出金や有価証券の利息収入などから、預金の支払利息などを差し引いた収益のことです。

(大まか)  
**役員取引等利益**とは 役員とはサービスのことで、主に手数料による損益のことです。

**特定取引利益**とは デリバティブ取引等短期的なトレーディング取引に関わる収支のことです。

**その他業務利益**とは 銀行本来の業務のうち「資金利益」「役員取引等利益」「特定取引利益(ディーリング益等)」以外の業務で得た利益のことです。

**コア業務純益**とは 預貸金業務による資金利益や為替業務による手数料利益などから経費を差し引いたもので、銀行本来の業務から得られる利益を示したものです。(式) **コア業務純益** = **業務粗利益** - **債券売買損益** - **経費**

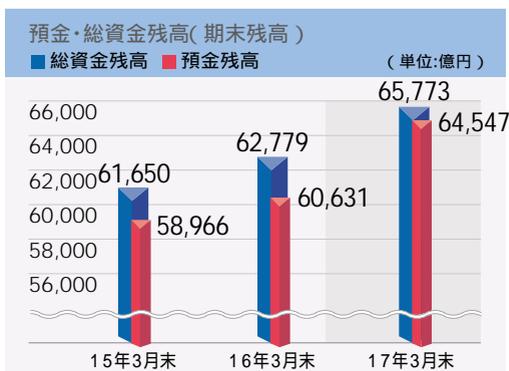
**当期純利益**とは 経常利益から税金などを差し引いた最終的な利益のことです。

# 16年度業績ハイライト

## ■ 預金の状況

預金は、法人・個人ともに流動性預金が大幅に増加し、期末残高は前年比3,916億円増加し6兆4,547億円となりました。

また、譲渡性預金を含めた総資金残高は、前年比2,994億円増加し6兆5,773億円となりました。



## ■ 資産運用商品

お客さまの多様化する資産運用ニーズに積極的にお応えしました結果、資産運用商品(投資信託、個人年金保険、外貨預金、公共債)の販売は順調に拡大しています。個人預かり資産の残高は前年比1,801億円増加し4,532億円となり、個人預金に対する割合も同3.9%上昇し、10.26%となりました。



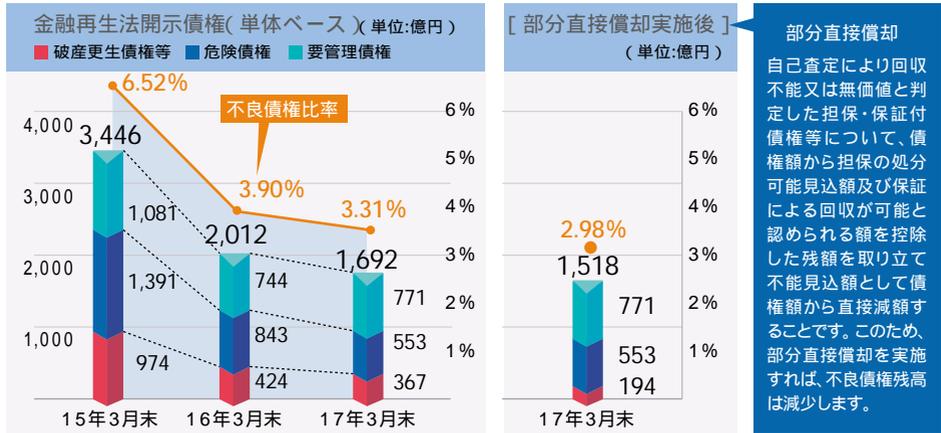
## ■ 貸出金の状況

貸出金は、地元企業を中心とした新規取引の開拓や総合取引の拡大に努め、また個人のお客さまの住宅ローンをはじめとしたニーズにも積極的にお応えいたしました。期末貸出金残高は、政府向貸出を2500億円程減少させたことから、201億円減少し、5兆343億円となりましたが、県内中小企業及び個人貸出金は624億円増加いたしました。



## 不良債権の状況

当行は、事業再生や企業の健全化支援を進めつつ、引き続き不良債権の圧縮に努めています。不良債権につきましては、前倒しで処理を進めた結果、不良債権残高（金融再生法開示債権）は、前年比320億円減少し1,692億円となり、不良債権比率も前年比0.59%低下し3.31%となりました。



## 不良債権に対する備え

平成17年3月末の金融再生法開示債権1,692億円のうち、1,347億円は貸倒引当金および担保・保証等でカバーされており、保全率は79.6%と引き続き十分な引当・保全状況を確認しています。

### 不良債権の保全内訳(金融再生法開示債権、単体ベース)

(平成17年3月末)(単位:億円)

	債権額	保全等カバー	保全率		
			引当金	担保・保証等	
破産更生債権等	367	367	226	141	100.0%
危険債権	553	505	183	322	91.3%
要管理債権	771	474	289	184	61.4%
合計	1,692	1,347	699	647	79.6%

## 金融再生法開示債権の定義

「債権額」...貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、貸付有価証券、仮払金等の合計額

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」...破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

「危険債権」...債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権

「要管理債権」...3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

# 16年度業績ハイライト

## ■自己資本比率の状況(連結、国内基準)

自己資本は、利益の積み上げにより前年比112億円増加(Tier は251億円増加)し、3,918億円となりました。連結自己資本比率は、貸出金を中心としたリスクアセットの増加及び劣後債務の消却等により前年比0.20%低下し9.27%となりましたが、中核的自己資本(Tier )は利益の内部留保により順調に積み上がっており、Tier 比率は6.29%(前年比+0.30%)に上昇いたしました。

### 自己資本残高(連結)

■ 基本的項目(Tier ) ■ 補完的項目(Tier ) (単位:億円)



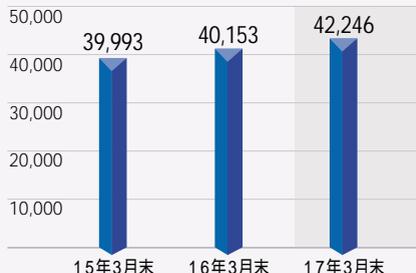
### 自己資本比率・Tier 比率(連結)

■ 自己資本比率 ■ Tier 比率 (単位:%)



### リスクアセット残高(連結)

(単位:億円)



## 自己資本比率とは...

総資産(貸出金など)に対する自己資本(資本金および過去の利益の蓄積等)の割合を示したもので、経営の安全性を示す重要な指標といわれています。

$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{資本金などの自己資本}}{\text{リスクアセット}}$$

- ・リスクアセットとは、資産の各項目にそれぞれのリスク・ウェイトを乗じて得た額の合計額のことです。
- ・自己資本は、資本金、資本剰余金、利益剰余金などの基本的項目(Tier )と、劣後ローン、土地の含み益、一般貸倒引当金などの補完的項目(Tier )とに区分されます。

## ■ 当行の格付

「格付」は、ムーディーズから、国内銀行の中では良好な「A3」を得ています。そのほか、日本格付研究所（JCR）からは「AA-」、格付投資情報センター（R&I）からは「A+」を取得しています。今後とも経営体質の強化に取り組み、格付の維持・向上に努めてまいります。

## ムーディーズ

種類	格付	格付の定義
長期銀行預金格付け	A3	預金債務に関して、信用力が良好である銀行に対する格付け。ただし、長期的にみて信用力に影響を及ぼしうる要素があるとも考えられる。
短期銀行預金格付け	P-2	預金債務に関して、信用力が高く、短期預金債務を遅滞なく履行する能力が高い銀行に対する格付け。

## 日本格付研究所（JCR）

種類	格付	格付の定義
長期優先債務格付け	AA-	債務履行の確実性は非常に高い。

## 格付投資情報センター（R&I）

種類	格付	格付の定義
発行体格付け	A+	信用力は高く、部分的に優れた要素がある。



# 16年度業績ハイライト

## 単体財務諸表

### 単体貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

科 目	金 額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	266,422
現 金	104,934
預 け 金	161,487
コールローン	164,987
買入金銭債権	64,780
特定取引資産	3,176
商品有価証券	977
特定金融派生商品	2,199
有 価 証 券	1,625,004
国 債	506,299
地 方 債	53,403
社 債	487,755
株 式	112,252
その他の証券	465,292
貸 出 金	5,034,272
割 引 手 形	80,262
手 形 貸 付	474,474
証 書 貸 付	3,762,476
当 座 貸 付	717,059
外 国 為 替	3,930
外国他店預け	981
買入外国為替	1,020
取立外国為替	1,927
そ の 他 資 産	47,771
前 払 費 用	16
未 収 収 益	13,638
金融派生商品	7,619
繰延ヘッジ損失	6,091
その他の資産	20,404
動産不動産	135,216
土地建物動産	132,370
建設仮払金	729
保証金権利金	2,116
繰延税金資産	10,033
支払承諾見返	73,594
貸倒引当金	82,977
資産の部合計	7,346,213
<b>負債の部</b>	
預 金	6,454,747
当 座 預 金	294,211
普 通 預 金	3,265,661
貯 蓄 預 金	113,930

### 単体損益計算書

(単位:百万円) (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
通知預金	28,640
定期預金	2,451,787
定期積金	40
その他の預金	300,475
譲渡性預金	122,577
コールマネー	4,832
債券貸借取引受入担保金	144,454
特定取引負債	1,262
特定金融派生商品	1,262
借 有 価 証 券	57,909
借 入 金	57,909
外 国 為 替	265
売渡外国為替	263
未払外国為替	1
新株予約権付社債	47,229
そ の 他 負 債	36,666
未決済為替借	678
未払法人税等	650
未 払 費 用	8,138
前 受 収 益	3,986
従業員預り金	2,340
給付補てん備金	0
金融派生商品	11,117
その他の負債	9,753
退職給付引当金	440
再評価に係る繰延税金負債	35,781
支 払 承 諾	73,594
負債の部合計	6,979,761
<b>資本の部</b>	
資 本 金	58,753
資 本 剰 余 金	37,008
資 本 準 備 金	37,007
その他資本剰余金	1
自己株式処分差益	1
利益剰余金	170,303
利益準備金	46,520
任意積立金	91,438
当期末処分利益	32,344
土地再評価差額金	52,374
その他有価証券評価差額金	48,351
自 己 株 式	339
資本の部合計	366,452
負債及び資本の部合計	7,346,213

### 単体損益計算書

(単位:百万円) (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
経 常 収 益	160,409
資金運用収益	124,284
貸出金利息	93,543
有価証券利息配当金	27,957
コールローン利息	144
買入手形利息	0
預け金利息	25
金利スワップ受入利息	1,695
その他の受入利息	918
信 託 報 酬	2
役員取引等収益	28,481
受入為替手数料	11,829
その他の役員収益	16,652
特定取引収益	1,351
商品有価証券収益	542
特定金融派生商品収益	808
その他の特定取引収益	0
その他業務収益	2,258
外国為替売買益	1,023
国債等債券売買益	1,019
金融派生商品収益	210
その他の業務収益	4
その他経常収益	4,030
株式等売却益	1,707
金銭の信託運用益	0
その他の経常収益	2,323
経 常 費 用	108,756
資金調達費用	19,598
預 金 利 息	2,488
譲渡性預金利息	73
コールマネー利息	64
債券貸借取引支払利息	2,546
借入金利息	1,307
社 債 利 息	966
新株予約権付社債利息	520
金利スワップ支払利息	11,512
その他の支払利息	118
役員取引等費用	9,237
支払為替手数料	3,102
その他の役員費用	6,135
その他業務費用	821
国債等債券売買損	821
営 業 経 費	70,271
その他経常費用	8,825

### 利益処分計算書

(単位:百万円) (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
貸倒引当金繰入額	3,554
株式等売却損	30
株式等償却	691
その他の経常費用	4,549
経 常 利 益	51,652
特 別 利 益	3
動産不動産処分益	0
償却債権取立益	2
特 別 損 失	5,214
動産不動産処分損	1,895
減 損 損 失	3,315
その他の特別損失	4
税引前当期純利益	46,441
法人税、住民税及び事業税	126
法人税等調整額	19,240
当 期 純 利 益	27,074
前 期 繰 越 利 益	3,329
土地再評価差額金取崩額	3,526
中 間 配 当 額	1,585
当期末処分利益	32,344

### 利益処分計算書

(単位:百万円) (平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
当期末処分利益	32,344
任意積立金取崩額	40
動産不動産評価差額金取崩額	40
計	32,384
利 益 処 分 額	28,895
配当金(株主向け)等	2,855
役員賞与金	40
[うち監査役分]	[ 3 ]
任 意 積 立 金	26,000
別 途 積 立 金	26,000
次 期 繰 越 利 益	3,489

## 連結財務諸表

### 連結貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

科 目	金 額
<b>資産の部</b>	
現金預け金	266,423
コールローン及び買入手形	164,987
買入金銭債権	64,780
特定取引資産	3,176
有価証券	1,624,844
貸出金	5,031,315
外国為替	3,930
その他資産	57,935
動産不動産	135,651
繰延税金資産	13,215
支払承諾見返	73,594
貸倒引当金	91,148
資産の部合計	7,348,707

(単位:百万円)

科 目	金 額
<b>負債の部</b>	
預 金	6,450,272
譲渡性預金	111,577
コールマネー及び売渡手形	4,832
債券貸借取引受入担保金	144,454
特定取引負債	1,262
借 用 金	58,009
外国為替	265
新株予約権付社債	47,229
その他負債	50,919
退職給付引当金	813
再評価に係る繰延税金負債	35,781
連結調整勘定	75
支払承諾	73,594
負債の部合計	6,979,088
<b>少数株主持分</b>	
少数株主持分	1,259
<b>資本の部</b>	
資 本 金	58,753
資本剰余金	37,008
利益剰余金	172,662
土地再評価差額金	52,374
その他有価証券評価差額金	48,374
自 己 株 式	812
資本の部合計	368,359
負債、少数株主持分及び資本の部合計	7,348,707

### 連結損益計算書

(単位:百万円)

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
経 常 収 益	165,639
資 金 運 用 収 益	124,746
貸 出 金 利 息	93,961
有価証券利息配当金	28,003
コールローン利息及び買入手形利息	144
預 け 金 利 息	25
その他の受入利息	2,610
信 託 報 酬	2
役 務 取 引 等 収 益	28,172
特 定 取 引 収 益	1,351
そ の 他 業 務 収 益	7,223
そ の 他 経 常 収 益	4,143
経 常 費 用	115,754
資 金 調 達 費 用	19,601
預 金 利 息	2,488
譲渡性預金利息	70
コールマネー利息及び売渡手形利息	64
債券貸借取引支払利息	2,546
借 用 金 利 息	1,308
社 債 利 息	966
新株予約権付社債利息	520
その他の支払利息	11,636
役 務 取 引 等 費 用	7,884
そ の 他 業 務 費 用	880
営 業 経 費	73,032
そ の 他 経 常 費 用	14,356
貸倒引当金繰入額	8,950
その他の経常費用	5,406
経 常 利 益	49,884
特 別 利 益	46
動 産 不 動 産 処 分 益	0
償 却 債 権 取 立 益	45
特 別 損 失	5,214
動 産 不 動 産 処 分 損	1,895
減 損 損 失	3,315
その他の特別損失	4
税金等調整前当期純利益	44,716
法人税、住民税及び事業税	704
法 人 税 等 調 整 額	18,063
少 数 株 主 損 失	841
当 期 純 利 益	26,789

### 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

科 目	金 額
<b>資本剰余金の部</b>	
資本剰余金期首残高	36,917
資本剰余金増加高	91
新株予約権の行使	90
自己株式処分差益	1
資本剰余金減少高	-
資本剰余金期末残高	37,008
<b>利益剰余金の部</b>	
利益剰余金期首残高	145,549
利益剰余金増加高	30,315
当期純利益	26,789
土地再評価差額金取崩額	3,526
利益剰余金減少高	3,202
配 当 金	3,162
役 員 賞 与	40
利益剰余金期末残高	172,662

# ふくぎんの地域貢献活動

ふくぎんは、地域の発展に貢献するため、「地域の繁栄なくして当行の発展はない」との考え方にに基づき、地域との共生を目指しております。預金、貸出金などの本来業務に加え、地域の教育・文化活動などを通して地域社会への貢献に努めております。

## 本来業務を通じての地域貢献

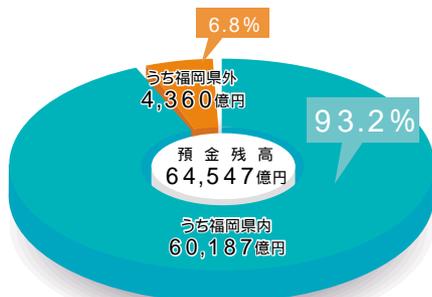
ふくぎんは、地域の企業や個人事業主の皆さまの事業の安定と発展に必要な運転資金や設備資金など、様々な資金需要に積極的にお応えしております。また、福岡県内を中心とした店舗網・ATM網など、各営業チャネルの充実により、地域のお客さまの「利便性向上」に努めております。

### 地域密着の金融機関として

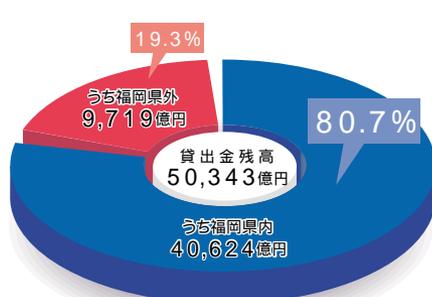
ふくぎんは、預金残高6兆4,547億円のうち、約9割以上の6兆187億円を県内のお客さまからお預かりしております。

また、福岡県内貸出金残高は、総貸出金残高5兆343億円の約8割を占め、4兆624億円となっております。

預金残高(全体・県内)



貸出金残高(全体・県内)



### 中小企業・個人事業主のお客さまへ

ふくぎんは、中小企業・個人事業主の皆さまの事業資金ニーズにスピーディかつタイムリーにお応えするため、福岡・北九州・久留米に「法人ビジネスセンター」を設置しております。

無担保商品「ベストリリーフ」、元気フクオカ資金や九州北部税理士会との提携商品など、中小企業・個人事業主のお客さま向けの商品をお取扱いしており、多くのお客さまにご利用いただきました結果、中小企業等貸出残高は前年比1,670億円増加し3兆5,329億円となりました。

中小企業等貸出残高

(単位:億円)



## 地域企業の皆さまへの経営サポート

ふくぎんは、お取引先の不動産活用・経営合理化・事業承継・相続対策・税務対策など様々なコンサルティングニーズにお応えしてまいります。

### 経営相談室

経営相談室では、企業財務や法律、税務についてご相談を承っています。また、福銀経営セミナーの開催、実務講座の開催、お取引先企業の新入社員研修なども行っております。

#### 経営相談室の各種サービス

お問い合わせ・お申し込みはお取引店を通じてお願いいたします。

##### 専門家によるご相談

税理士  
による  
税務相談

弁護士  
による  
法律相談

##### 自己啓発・社員研修等のお手伝い

経営  
セミナーの  
開催

実務講座の  
開催

通信講座の  
ご紹介

新入社員  
研修会の  
開催

### ふくぎん経営者クラブ

「ふくぎん経営者クラブ」では、経営講演会・実務セミナーの開催やビジネス交流会の実施、ホームページからの「経営情報提供サービス」等、最新の経営情報や業種を越えた情報交換の場をお客さまに提供し、地域の経済活性化のお手伝いを行っております。



福岡ビジネスフォーラム

### 財団法人九州・山口地域企業育成基金

地域の中小企業の支援を目的として昭和60年に設立され、中小企業の研究開発および人材育成に対する助成金の交付、資金借入れの債務保証や講演会の開催等、各種事業に取り組んでおります。



キューテック講演会

### ふくぎんビジネスインフォメーション

法人ビジネスセンターでは、定期的にお客さまに対してファックスや郵送で経営に関する様々な情報をご提供しております。

# ふくぎんからのお知らせ

## キャッシュカード一体型クレジットカード "arecore"

キャッシュカード、クレジットカード、ローンカードの3つの機能が1つになった、ふくぎん のarecore カードは、平成17年1月25日から新たに『JCBブランド』をラインナップいたしました。

arecoreカードはお客さまから大変ご好評いただき、昨年10月からの発行枚数は既に8万枚に達しております。

アレコレひとつで、アレコレうれしい。

キャッシュカードとして + クレジットカードとして + ローンカードとして =

「引出す・預ける・振込む」 国内外でご利用OK! 急な出費にも慌てない!  
のキャッシュカード機能 ICチップ搭載の次世代カード カードローン機能

## arecore 1枚で、こんなにおトク!

**ポイント①**

当行ATM時間外手数料を無料にできる!

1年間無料(カード発行月の翌月1日から適用されます。)  
2年目以降もarecoreカードのご継続に際し、お申し込みの2020年のお取引でOK!  
お申し込み、arecoreカードでの請求のみのショッピング決済額が10万円以上でポイントでのサービス優待となります。

**ポイント②**

クレジットカード年会費を無料にできる!

1年間無料(ゴールドカード、ヤングゴールドカードは対象外となります。)  
2年目以降も以下のご利用でOK!  
arecoreカードでの年間ショッピングご利用額が10万円以上または携帯電話料金のクレジットカード決済

**ポイント③**

ショッピングポイントにボーナスポイントがついてくる!

マイバンクの各ステップに応じてショッピングポイントを5% - 15% 上乗せ!

arecoreカード  
おトクの特典!

## 新型ローン『ふくぎんナイスカバー』の取扱開始

今日、必要だった。  
あー忘れてた。  
どうしよう。

すぐ必要、それならふくぎんに相談してみる新型ローン

### ナイスカバー

お使いみち自由

アルバイト、パートの方も申し込みOK!

お急ぎの方には即日振込サービス

手続き簡単!!

ふくぎんは、平成17年5月10日から、新型ローン商品『ふくぎんナイスカバー』の取扱いを開始いたしました。『ふくぎんナイスカバー』は、『誰でも』『簡単に』『スピーディーに』をコンセプトとした、新型ローン商品です。収入がある20歳以上(65歳以下<sup>1</sup>)の方であれば誰でも、電話・インターネット・携帯電話・FAX等から簡単に申し込みができ、『即日振込サービス<sup>2</sup>』をご利用いただければ、当日中にスピーディーに 預金口座へ融資金をお振込みさせていただきます。

	「カードローンタイプ」	「分割返済タイプ」
融資対象者	20歳以上60歳以下で、収入のある方(パート・アルバイト、年金受給者も可)	20歳以上65歳以下で、収入のある方(パート・アルバイト、年金受給者も可)
融資金額(限度額)	10万円～90万円(10万円単位)	10万円～200万円(1万円単位)
融資期間	1年(自動更新)	6ヶ月～5年(6ヶ月単位)
金利	14.5%または17.5%(審査のうえ、銀行で決定)	9.8%または14.5%(審査のうえ、銀行で決定)
資金使途	自 由 (事業性資金を除く)	
お申込方法	店頭・電話・FAX・インターネット等での仮申込後、店頭または郵送での正式申込(契約)	
保証会社	ふくぎん保証(株)または三洋信販(株)	ふくぎん保証(株)または(株)クレディセゾン
その他	『即日振込サービス』をご利用になれば、お申し込み当日のご融資が可能	

1 カードローンタイプは60歳以下 2 即日振込サービスは、専用ダイヤルへの電話でのお申し込みに限ります。



# ふくぎんからのお知らせ

## キャッシュカードのセキュリティ強化への取り組みについて

ふくぎんは、昨年来、首都圏を中心に偽造カードによる被害が急増している中、キャッシュカード等の種々のセキュリティ強化策を検討してまいりました。この強化策の中で、平成17年2月14日よりATMでの「1日あたりのご利用限度額(200万円)設定」を実施いたしました。今後さらにお客さまに安心してキャッシュカード等をご利用いただけるよう、下記の対策の検討を進め、平成17年度中の実施を目指してまいります。

### 実施済

- ATMで暗証番号の変更ができるようにいたしました。
- ATMでの「1日あたりのご利用限度額」を200万円といたしました。
- ATM画面の遮光フィルターと後方確認ミラーを全店に拡大いたしました。
- 生年月日等類推されやすい暗証番号を不可とするシステム対応を行いました。

### 17年度中に実施予定

- ATMでの1日のご利用限度額を自由に設定できるようにいたします。(17年度上期に実施予定)
- ATM暗証番号入力画面の数字配列のスクランブル対応をいたします。(17年度上期に実施予定)
- 携帯電話を活用し、第三者によるキャッシュカード・通帳での不正引き出しを防止いたします。(17年度下期に実施予定)

携帯電話を活用した本人確認の仕組み

預金者

カードセンター

支払ガード解除

預金者が支払取引

ガードが自動設定

携帯でウェブサイトへアクセス

この間のみ支払取引可能

- ICキャッシュカードを発行するとともに、盗難偽造被害に対する保険付き預金商品を導入いたします。(17年度下期に実施予定)

生体認証を活用し本人確認を強化いたします。(17年度下期に実施予定)

## 証券仲介業務への取組開始

ふくぎんは、グループ会社の前田証券株式会社と野村證券株式会社の2社を委託証券会社とし、平成17年5月9日から証券仲介業務に参入いたしました。

証券仲介業務とは、証券会社からの委託を受けて、銀行がお客さまに証券取引を勧誘し、株式や債券の売買を媒介する業務です。

取扱商品	対面販売(窓口等): 口座開設・債券(外債等)の売買媒介( ) 非対面販売(電話等): 債券(外債等)・株式
取扱店舗	本店営業部・北九州営業部・久留米営業部

媒介とは、お客さまと証券会社との間の契約締結に尽力する行為をいい、当行は契約の当事者となるものではありません。

また、平成17年7月19日に移転する黒崎支店のロビー内に前田証券の相談ブースを設置し、銀行商品、証券商品をワンストップで提供できる体制を整えてまいります。

## 預金保険制度について

平成17年4月から当座預金や利息のつかない普通預金などは「決済用預金」として全額保護され、定期預金や利息のつく普通預金などは、1金融機関につき預金者1人当たり、元本1千万円までとその利息等が保護されます。

### 預金保険対象商品と保護の範囲

預金等の分類		
預金保険の対象商品	当座預金・普通預金・別段預金	利息がつかないなどの条件を満たす預金(注2)は全額保護
	定期預金・貯蓄預金・通知預金・定期積金・元本補てん契約のある金銭信託(ビッグなどの貸付信託を含みます)・金融債(ワイドなどの保護預り専用商品に限ります)など(注1)	合算して元本1,000万円までとその利息等(注3)を保護 (1,000万円を超える部分は、破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))
対象外商品	外貨預金・譲渡性預金・元本補てん契約のない金銭信託(ヒット、スーパーヒットなど)・金融債(保護預り専用商品以外のもの)	(破綻金融機関の財産の状況に応じて支払われます(一部カットされることがあります))

(注1)このほか、納税準備預金、掛金、預金保険の対象預金を用いた積立・財形貯蓄商品が該当します。

(注2)決済用預金といいます。「無利息、要求払い、決済サービスを提供できること」という3条件を満たすものです。

(注3)定期積金の給付補てん金、金銭信託における収益の分配のうち一定の要件を満たすもの等も利息と同様保護されます。

## ふくぎんの 「決済用普通預金」

預金保険制度による「全額保護」をご希望のお客さまには、  
「決済用普通預金」をご用意しています。

### ふくぎんの「決済用普通預金」の特徴

現在ご利用中の普通預金が「そのまま」ご利用いただけます。

- 1 預金種類、口座番号は「そのまま」なので、給与振込・年金振込のお受取りや公共料金など自動振替の変更手続きがいりません。
- 2 通帳・キャッシュカードも「そのまま」ご利用いただけます。
- 3 総合口座やカードローンをセットされている場合も「そのまま」ご利用いただけます。
- 4 新たに口座を開設することもできます。
- 5 「決済用普通預金」は利息がつきません。

お問い合わせはこちらまで

☎0120-788-321

携帯電話・PHSの場合092-432-6035

(受付時間:午前9時～午後5時 ただし銀行休業日は除きます。)

# 株式情報

## 株式の状況(平成17年3月31日現在)

発行する株式の総数	1,800,000千株
発行済株式の総数	635,166千株
株主数	17,639名

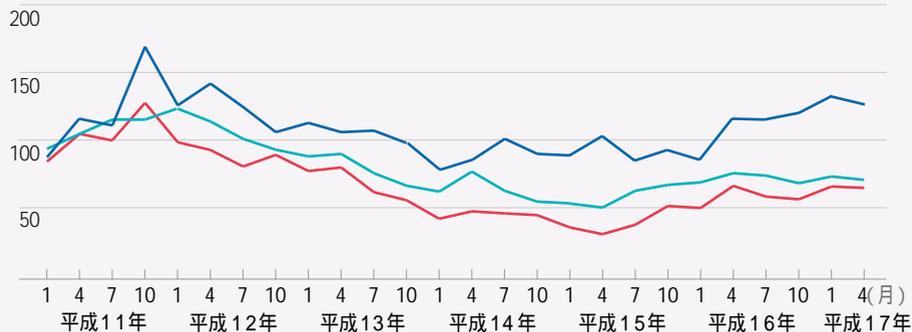
大株主 (氏名又は名称)	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	45,080	7.09
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	30,675	4.82
明治安田生命保険相互会社	26,419	4.15
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	20,491	3.22
九州電力株式会社	19,296	3.03
住友生命保険相互会社	17,137	2.69
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	16,941	2.66
第一生命保険相互会社	15,792	2.48
日本生命保険相互会社	14,630	2.30
株式会社損害保険ジャパン	11,919	1.87

(注) 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。  
割合は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

## 当行株価の状況

■ 当行株価 ■ 日経平均株価 ■ 銀行株価指数

当行株価、日経平均株価、銀行株価指数の推移(平成10年4月=100)



## 株式のご案内

- 決算日  
毎年3月31日
- 定時株主総会  
毎年6月に開催いたします。
- 配当金受領株主確定日  
利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
- 基準日  
定時株主総会 3月31日  
その他必要があるときは、あらかじめご告知いたします。
- 公告掲載新聞  
日本経済新聞および福岡市で発行される西日本新聞

## 6. 株式事務取扱場所・取次所

名義書換代理人 日本証券代行株式会社  
 同事務取扱場所 日本証券代行株式会社 福岡支店  
 TEL092-741-0284

〒137-8650  
 東京都江東区塩浜二丁目8番18号  
 日本証券代行株式会社 代理人部  
 [用紙のご請求] ☎0120-707-842  
 [その他のご照会] ☎0120-707-843

同取次所 日本証券代行株式会社 本支店

## ■自己株式の取得について

資本効率の向上を通じた株主の皆さまへの利益還元を図るとともに、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、自己株式の取得を行いました。

取得した株式の種類	普通株式
取得した株式の総数	14,885千株
取得価格	1株につき644円
取得総額	96億円
約定日	平成17年5月12日(木)
取得方法	東京証券取引所のToSTNeT-2(終値取引)による買い付け

## ■配当について

第94期の期末配当につきましては、当期の業績が高水準になったこと、さらには今後も高い収益力の達成が見込めると考えられること等を踏まえ、株主重視の経営方針をより鮮明にするため、前期期末配当金に対し2円増配の1株当たり4.5円(年間7円)といたしました。

なお、配当性向や自己株式の取得と合わせた株主還元等の方針に関しましては、平成18年4月からスタートする次期中期経営計画の発表時に併せてお知らせいたします。

	中間期	期末	年間
平成17年3月期(第94期)配当	2円50銭	4円50銭	7円00銭
平成18年3月期(第95期)配当予想	3円50銭	3円50銭	7円00銭

## 当行の概要

(平成17年3月31日現在)

設立	昭和20年3月31日
資本金	588億円
本店所在地	福岡市中央区天神二丁目13番1号
営業店舗数	本支店158 出張所9 合計167
従業員数	3,032名
主要勘定	預金残高.....6兆4,547億円 貸出金残高.....5兆343億円 有価証券残高.....1兆6,250億円
発行済株式総数	635,166千株
連結自己資本比率(国内基準)	9.27%



## ふくぎん 110 番

こんなとき  
どうするの？

## ① 通帳やキャッシュカードや印鑑を紛失したときは？

- A** すぐにお取引店または当行本支店にお電話ください。盗難の場合は、警察にもお届けください。  
(平日の時間外や土・日・祝日は下記にお電話ください。)

## 喪失届受付センター

☎ 0120-100-508

月 / 6:30 ~ 8:45 17:00 ~ 24:00

火 ~ 金 / 0:00 ~ 8:45 17:00 ~ 24:00

土 / 0:00 ~ 21:00 日・祝日 / 6:30 ~ 21:00

(携帯電話からのお届けもできます。)

上記時間内でも祝日の翌日の朝0:00 ~ 6:30は受付いたしてありません。

電話でのお届けは仮のお届けです。書面での正式の届け出が必要ですので、お早めに次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

## 通帳やキャッシュカードを紛失されたとき

お届け印



本人確認書類



## 印鑑を紛失されたとき

通帳



今後ご使用予定の印鑑



本人確認書類



通帳やカードの再発行には、手数料(1,050円)が必要です。通帳またはカードを発見されたときは、発見された通帳またはカードとお届け印、および 本人確認書類をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。この届けがないとご利用になれません。正式な届け出前に印鑑を発見されたときは、お届け印、通帳またはカードおよび 本人確認書類をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。この届けがないとご利用になれません。本人確認書類=運転免許証、パスポートなど。詳しくは窓口にお尋ねください。

## ② 住所が変わったときは？

- A** 次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

通帳



お届け印



キャッシュカードをご利用の個人のお客さまは電話で手続きができます。ふくぎんキャッシュカードダイヤル **092-432-6162** にお電話ください。

ダイレクトバンキング会員のお客さまはテレホンバンキング(フリーダイヤル)をご利用ください。

☎ **0120-366-567** 携帯からは 092-432-6032 (受付時間/A.M.9:00 ~ P.M.8:00 但し、銀行休業日は除きます。)

個人のお客さまはメールオーダー(郵送)による手続きもできますので、ご利用ください。

なお、当座勘定、ご融資、マル優・マル財・マル特・財形預金、住宅金融公庫等のお取引をいただいているお客さまは、電話・メールオーダーでの住所変更手続きはできません。窓口のお申し出においても確認資料等が必要となる場合もありますので、お取引店にお問い合わせください。

## ③ 届出印鑑を変更するときは？

- A** 次のものをご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口にお申し出ください。

通帳



お届け印



今後ご使用予定の印鑑



## ④ 暗証番号を変更したいときは？

- A** ふくぎんのATMで、キャッシュカードまたは通帳を使って手続きができます。

通帳とお届け印をご持参のうえ、お近くのふくぎんの窓口で手続きすることもできます。

## 福岡銀行からの大切なお知らせ

## あなたの暗証番号は大丈夫ですか？

「生年月日」「電話番号」「住所の地番」「自動車のナンバー」「規則的な数字(1111、1234など)」など他人に推測されやすい番号をキャッシュカードの暗証番号にご使用することは避けてください。



暗証番号の変更は、当行のATMで簡単にお手続きできます。

暗証番号として変更可能な番号には一定の制限を設けていますので、あらかじめご了承ください。

## 暗証番号によるご本人確認のお願い

盗難通帳等による不正払出しを防止し、お客さまの大切なご預金を守るために、お取引金額によりましては、暗証番号のお届け先がある預金は、窓口で「暗証番号入力装置」に暗証番号を入力していただくことによりご本人確認をさせていただいております。また、上記確認に併せて、本人確認書類のご提示等をお願いすることもございます。

